



おいそ

議会だより

第135号

2006年（平成18年）4月27日発行



ここは何処？（答えは裏表紙に）

3月定例会

18年度予算 駅バリアフリー事業を削除

2P

まちづくり基本計画 骨子が決まる！

6P

町政のここが聞きたい 一般質問

10P

輝いてます大磯人^{びと}

20P



3月 定例会

3月議会は2月21日から3月16日までの24日間の日程で行われた。町から提出された条例の一部改正、補正予算など26議案のうち新規条例3件を委員会に付託し、18年度予算は特別委員会を設置して審査した。一般会計予算は委員会で否決したが、最終日の本会議で議員提出の一部修正案を賛成多数で可決した。全議案のうち24件を可決し、1件を修正可決し、1件を否決した。なお、昨年12月議会から継続審議となっていた「まちづくり基本計画」は委員会が提出した修正案を賛成多数で可決した。一般質問は13名が33問行い、陳情は2件審査し、1件の意見書を提出した。

18年度一般会計予算を修正 駅バリアフリー事業削除

修正案が提出される までの流れ

18年度予算は予算特別委員会で3月7日から13日まで4日間にわたって審査され（委員会の内容は4・5面に掲載）一般会計予算は、2対6の賛成少数で否決し、4特別会計は賛成多数で可決した。

16日の議会最終日、予算特別委員会の委員長から委員会の結果報告があった後、山口議員から大磯駅バリアフリー事業（6千200万円）に関わる部分を削除した一般会計の修正案が提出された。

これを受け、山口議員に対し質疑が行われた後討論があり、採決の結果、9対8で修正案を可決した。なお、修正部分を除く原案と4特別会計は賛成多数で可決し、議会は「大磯駅バリアフリー化対策特別委員会」を設置した。

修正案に対する質疑

問 事業内容の一部分を削除するなら理解できるが、事業全部を削除するのは、事業そのものを否定していると思えるが。

山口議員 事業は出来るだけ早くやりたい。止めたいなら修正案は出さない。

問 予算提案権は町長にある。議会が事業予算の全部を削除し、議会が関与した予算を町長は再度提案するのか。

町長 これから相談して新たにスタートしたいという議員の皆様のお考えのようだ。

与えられている時間はあまりないが出来るだけのことをしてほしい。調整がついたら補正予算で提出したい。

問 バリアフリーに賛成しているのに予算を白紙にして町民の理解を得られるか。
山口議員 賛成しているなら、いくらお金を使っても良い訳ではない。

修正動議の要旨

「計画は大賛成であるが、財政難のため、工事の費用や内容をもっと精査したい。そのために検討委員会などを設置し、町と協力してJRとの折衝を進めたい。よりよい改修工事をするために予算と切り離し、あまり時間がかからないうちに、納得のいく結論を出したい」というものであった。

事業の概要

国の交通バリアフリー法の補助対象（平成22年まで）となるもので、内容は跨線橋の新設、エレベーター2基とエスカレーター2基、多機能トイレの設置、既設の跨線橋とトイレの撤去、自動改札移設などである。工事費は国、JR、町が3分の1ずつ負担する。町の負担分は7億円強のうち2億円強となる見込み。



修正案反対討論

(清水・奥津議員)

◆歳入ではまちづくり交付金の活用を、歳出では人件費の削減や経常経費の見直し、基金の取り崩しを評価する。本年は第四次総合計画前期基本計画の初年度であり、将来のまちづくりを見据え、財政健全化に取り組みながらメリハリをつけた予算である。

原案修正案とも反対討論

(鈴木・柴崎議員)

◆官から民への掛け声で社会的弱者に多大な犠牲を強いている。税制改悪により収入が増えないだけでなく、年金が減ることによる税の増収は反対だ。介護保険法、障害者自立支援法も不備。人件費の削減は職員の士気を低下させる。運動公園の入り口のルート検討は200万円を計上しているが幅員6メートルが必要か疑問。

修正案賛成討論

(土橋・坂田・竹内議員)

◆町営住宅建て替えが予定されているが、今の入居者に周知していない。決算委員会の反省が出来ていない。バリアフリーを除く修正案は大勢の方に理解されるはず。

主な総括質疑

定例会初日、三澤町長は

平成18年度の予算案の提案理由を「施政方針」として述べ、それを受けて、清水、坂田、山口、鈴木、山田、吉川、柴崎議員が総括質疑を行った。

施政方針のあらまし

町財政を取り巻く状況は厳しさを増している。こうした時代に対応するには、町民と町が問題意識を共有し、改革を進め、町政運営の方針を明らかにし、町民と行政が協働してまちづくりを進めることが重要である。

た予算案ができた。

問 町民と問題意識を共有して改革を進める具体的なものは。行政改革の実現の根拠は。

答 町が抱える課題や問題を、広報紙、ホームページ、町民対話集会などにより知らせ、いただいた意見や町民参加の手法などにより町施策へ反映するようにする。

問 この3年間でまちづくり運営のあり方をどのように変えたか。

答 行政改革実施計画、財政健全化計画、職員定員適正化計画を策定、推進した。第四次総合計画やまちづくり基本計画は、ワークショップや対話集会などの住民参加を取り入れ策定した。

問 財政健全化計画は達成できるのか。事業見直しや収入増計画が棚上げされていかないか。

答 財政健全化計画に沿った

行政執行の強い意気込みを感じる。介護保険、障害者自立支援事業はきめ細かな相談と対応を期待する。町の顔でもある駅のバリアフリー事業は、高齢者や障害を持った方が一日千秋の思いで待っていた。9月から工事を進めたいという町の意思を高く評価する。具体的検討が行われていない、町民や議会への説明が不十分、などの理由で待ったをかけるのが全く理解できない。国からの補助金もこれ以上引き延ばすと状況が悪くなる。

問 行政改革実施計画、財政健全化計画、職員の定員適正化計画を策定、推進した。第四次総合計画やまちづくり基本計画は、ワークショップや対話集会などの住民参加を取り入れ策定した。

答 行政改革実施計画、財政健全化計画、職員の定員適正化計画を策定、推進した。第四次総合計画やまちづくり基本計画は、ワークショップや対話集会などの住民参加を取り入れ策定した。

問 早急に大磯中学校体育館の耐震補強に取り組みべきでは。

答 18年度に耐震補強設計を行い、19年度に耐震改修工事を実施する予定。

またバリアフリーは一刻も早くやるべきだが、跨線橋の設置はJRが負担するべきである。修正案は町長が町の負担を2億円で納めたいといっていることを守らせるためではないので反対。

◆時間外手当がきちんと計上されているのは残業を給与化していることでありおかしい。大磯小学校や西駐輪場などの下水道の供用開始が遅れているのはおかしいことだ。

◆修正案の暫定予算を回避したいという趣旨に賛同する。バリアフリー化は大いに賛同するが、今後は町道、県道や公共施設などの周辺整備を含む拠点としての役割を考えた大磯駅の検討会を立ち上げていただきたい。大磯中学校体育館の耐震事業は改修ではなく総合施設、生涯学習、防災拠点を視野に建て替えを望む。

◆バリアフリーの現在の設計が既存の駅舎にこだわらあまり、使い勝手が悪く、不便を強いるものになるのではないかと十分な検討がされていない。

●一般会計	76億8,800万円
●特別会計	
国民健康保険事業	29億3,800万円
老人保健	29億3,300万円
介護保険事業	18億 200万円
下水道事業	12億9,800万円

予算特別委員会一般会計予算を否決

たい予算のゆくえ

予算特別委員会は3月3日全予算の説明を受け、7日から13日まで4日間に、延べ62名が154問を質問した。

その結果、一般会計は2対6の賛成少数で否決し、4特別会計は賛成多数で可決した。

総務 職員研修で意識改革を図る

問 滞納整理嘱託員の配置に問題はないか。

答 大磯・国府の2地区で2名にした。各課の連携は担当課と調整しており管理職も滞納徴収を行っている。

中に走れなくなる。複雑多様化する災害に対応するためには必要である。費用の差は車両装備で、大磯はクレーンと無線がある。

問 町有地の貸付料は。

答 普通財産の貸付で15カ所、709㎡を見込んだ。契約は1年ごとである。

問 政策推進プロジェクトに対する町の考えは。

答 18年度も進めたい。11項目あるが、中身を精査する必要もある。

問 職員研修の目的は。

答 目的は個人の力を高め、職場内で意識改革を図る。年度計画を立て、該当職員に受講させ成果を評価する。

問 まちづくり交付金についての方針は。

答 三位一体の改革で補助金を見直し、都市再生を目的に配分された。

問 7千600万円の救助工作車は必要か。購入費が二宮町と1千万円違うが。

答 排出ガス規制で19年度

問 総合計画の実施計画はいつ出来るか。

答 4月には示せる。

問 車いすの利用者は大磯、二宮合せても月平均13

人

問 今回のバリアフリー法内の事業を行いたい。

答 車いすの利用者は大磯、二宮合せても月平均13人

福祉 さざんか荘 利用しやすく改修

問 大磯駅バリアフリーは6億円の事業だが、3、4カ月の検討でよいのか。

答 昨年11月の議員全員協議会で工事内容を説明したが、以前から一般質問でエレベーターとエスカレーター設置を18年度に行いたいと答弁していた。10月にJRから7億8千万円の概算見積もりがあり、地盤の支持層が深く経費がかかることが分かった。その後、全体の見直しを図って7億2千万円までになった。町は2億円で進めたい。議会への説明に慎重な配慮が必要だったと反省している。

16台である。慎重にするべき。

問 跨線橋の経費はJR負担にすべきではないか。

答 跨線橋は補助対象事業。築80年でエレベーターとエスカレーターを設置するのは無理である。

問 バリアフリーと大磯中学校体育館の耐震改修との優先順位は。

答 予算には体育館の耐震実施設計も計上している。駅のバリアフリーをここで1年置くと3年遅れる。

問 大磯中学校体育館の耐震改修のスケジュールと財源、建て替えの検討は。

答 19年の6月ごろ議会の承認を得て夏休みから始たい。耐震補強と大規模改修で約8千万円、交付金を検討している。建て替えは、6億円かかる。

反対討論

(土橋・山口・高橋(英)・竹内・山田・坂田議員)

◆職員研修を増額し、意識改革をさせたい。生沢プールの運営を見直し、虫窪スポーツ広場は教育委員会へ、バリアフリーは検討が必要。

◆決算委員会の指摘が生かされていない。大磯駅バリアフリー化は早期に着工するのが望ましいが、より慎重な検討が必要。

◆一般会計と下水道会計は関係が深い。公債費推計表を見ると未来に不安を感じる。下水道は事業認可を見直すべきであった。

◆生活道路計画を推進して欲しい。バリアフリーより大磯中学校体育館の工事を優先して欲しい。福祉基金は本来の目的に使うべき。

◆町執行体制と職員意識改革に必要な予算になっていない。駅バリアフリー事業の決定過程が不透明、駅周辺の整備計画をすべき。

◆中学の体育館は建て替え

くわしく知り



幹線28号

建設 幹線28号(東海大病院前) 歩道整備に885万円

問 ドウ・ゼ・アンを町指定の文化財とすればレストラン営業の後押しになるのでは。

答 現在の所有者からそのような話がある。今後協議して行く。

問 ブックススタート事業の内容は。

答 18年4月以降生まれが対象。保健センターで書とボランティアが行う。本の選定は司書が行う。

問 さざんか荘改修の内容は。

答 食事が出来る交流スペース、多目的室とウッドデッキ、授乳室、屋根の防水。関係者との検討会で決めた。

問 町営住宅建て替え事業の積算と住民説明は。

答 月京住宅の基本設計を計上した。今後建て替えや一部用途廃止などの説明をする。

問 介護保険を使わないで自宅で家族が介護する場合の補助はないのか。

答 現在はない。

問 高田公園の整備内容は。

答 芝の整備、トイレの改修、展望台の再整備、園路の舗装、植栽など。

問 木造住宅耐震診断補助金の根拠は。

答 昭和56年以前の家屋が対象。1軒あたり6万円。

問 万台こゆるぎの森の毎日の開放にいくらかかるか。

答 臨時職員2人配置で431万円。

問 観光協会の補助金100万円の減は。

答 なぎさの祭典の費用を500万円から400万円にした。

問 ごみ処理事業の委託料の減の理由は。

答 1人当たりのごみ排出量が2%減、運転管理5%減、全体で2千500万円減とした。

問 先進地視察、イベント活動などで20万円。

答 生活排水処理の合併浄化槽補助金の内容は。

問 合併浄化槽10基分。町は3分の1負担。新築、付け替え世帯対象。

問 狭あい道路の拡幅事業の予定件数と買い上げ価格は。

答 修繕に24カ所、調査委託30件、測量22件、工事請負2カ所、土地購入50件、補償に32件を予定。固定資産評価額の30%で保償額の上限は200万円。

問 山王町松並木敷整備は。

答 植栽帯の樹木整理と松の移植、除草などを行なう。

問 幹線28号の歩道整備事業の内容は。

答 北側歩道を2.2m拡幅する計画、19年度に進められるよう努力する。

をすべき。都市計画・道路計画を真剣に検討して欲しい。所管委員会への状況説明を付帯事項とする。

賛成討論 (大坂・奥津議員)

◆重要課題に取り組む予算編成を評価する。教育は柔軟な対応で、子どもに展望ある未来像を示してほしい。下水道会計は全体計画の見直しが必要。

◆まちづくり交付金の活用を評価し、介護保険と障害者へはきめ細かい対応を期待する。バリアフリーは「時」を逃さず、1日も早い実現を望む。

予算特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 百瀬 恵美子 |
| 副委員長 | 坂田 よう子 |
| 委員 | 奥津 勝子 |
| | 土橋 秀雄 |
| | 山田 喜一 |
| | 高橋 英俊 |
| | 大坂 聖子 |
| | 山口 陽一 |
| | 竹内 恵美子 |

大磯らしさに向けて まちづくり基本計画の骨子 決まる!!

建設経済常任委員会は1月12日と31日に委員会を開催し、昨年12月議会で継続審議とした「まちづくり基本計画」の4カ所を修正し、採決の結果、4対1で修正案を可決した。

本会議初日、委員長報告が行われ、採決の結果、9対8で修正案を可決した。

修正した部分は、道路計画の策定、主要幹線道路の整備、駅周辺の石垣など。

まちづくり基本計画は、まちづくり条例に位置づけられた計画である。策定は3年がかりで行われ、75名の町民が参加した。

全体は71頁に及ぶ計画案であるが、今回はその中の骨子の部分提出された。

主な質疑

問 今後の道路計画の策定はどうなっているのか。

答 平成14年に調査した「大磯町道路整備計画策定業務委託報告書」を基本として具体的な作業を進める。

問 土地利用について、今後地目の変更、線引きなどはどうなるか。

答 現在未だ市街化区域の

中に未利用地があるので線引きを見直すのは難しい。

問 大磯駅周辺の石垣については町民の認識がさまざまなので、削除したほうがすっきりするのではないのか。

修正案反対討論

◆多くの時間と町民参加で作ったバランスよい計画。
◆緑と石垣は大磯の貴重な風景、石垣は削除できない。
◆湘南新道がなぜ必要かを議論していないので反対。

原案修正案とも反対討論

◆この土地利用方針図は市街化区域にすべきでない所を市街化区域に指定して固定資産税を納めさせている。土地利用方針図通りで大磯の景観は守れるのか。

修正案賛成討論

◆町民参加で決めても議会が修正するのは大事。
◆線路沿いの石垣は危険、守るのは間違っている。
◆町は湘南新道、町道幹16号、生活道路も整備すると明確にし、実行するべき。

国民保護協議会ほか 関連条例が可決

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき、「市町村国民保護計画」を平成18年度に策定するため必要な事項を定める新条例を提案された。

委員会に付託し審査され可決し、本会議でも13対4で可決した。

主な質疑

問 国民保護協議会に町民の声を反映させるため、町民の視点からの委員を入れてもらいたい。

答 計画の策定にはパブリックコメントとして、町民の意見を反映させる。

問 今の自治体の対応とどこが違うのか。

答 外国からの武力に対し、法律で設置する。

反対討論

有事法制は、住民を守るものでも国民を守るものでもない。国に属するものを自治体ごとに可決させて何の意味があるのか。

介護保険料910円上がる!

介護保険法の介護保険事業計画の3年毎の見直しによる介護保険料率の改定が行われた。

また、高齢者が要介護状態等になることを予防するための新たな「地域支援事業」で利用者から300円の利用料を徴収することが提案され、採決の結果、11対6で可決した。

主な質疑

問 保険料率の上昇で低所得者の減免はないのか。

答 全体のバランスと将来的なことを考えてやった。

問 通所型介護予防事業の利用料1回300円は必要か。
答 事業経費に対し、応分の負担をしていただきたい。

町立の会館等の町直営管理は

地方自治法の改正により公の施設の管理委託制度が廃止され、指定管理者制度が創設された。

町は当面、公の施設を直営で管理し、管理委託の規定を整理するため条例改正が提案されたが、採決の結果、7対10で賛成少数で否決した。

主な質疑

問 指定管理者制度が出来てから3年間、町側の方針が整理出来ていなかったのではないのか。

答 制度導入のスタートが遅かった。1年間かけて区長会と鋭意相談する。

反対討論

直営での条件整備が3月中に整うのか。



教育委員に 清田義弘氏と石塚洋氏

9月議会で不承認となり欠員だったため任命の提案があった。

清田氏（63歳）は、工学院大を卒業し、平塚・吉沢小学校校長など歴任、町教育研究所所長などを務められた。

石塚氏（65歳）は、千葉大工学部を卒業し、東芝入社、多摩川工場長など歴任、テルム社長などを務められた。

町長等の期末手当と 給与を削減

町長は厳しい財政状況を理由に、昨年に続き町四役の期末手当削減の議案と

「固定資産税の課税ミス」に対する三役の道義的責任としての給与月額10%減額の議案を提案した。

課税ミスの管理責任は三役だけでよいか、などの質疑に対し、事実関係を調査し、しかるべき対処を行うと答弁を受けた。

情報公開の請求は誰でもできるように

行政情報の公開を請求できる者は従来、町在住、在勤、在学などの規定があったが、4月から誰でも請求することができる。

公園の占用使用料決まる

公園内で祭礼、縁日などで出店する場合、また電柱、電話ボックス、自動販売機を設置する場合は4月から使用料がかかる。

予防介護が充実へ

現行の介護保険給付費支基金の処分は、保険給付費に限定されていた。今回の改正により、社協に4月から設置される包括支援センターで、認定前の人でも予防介護の相談ができる。

措置医療の助成、国から県へ

4月から施行される障害者自立支援法により、知的障害者入所施設に入所している知的障害者の措置医療の助成が廃止されることになった。その廃止分を県が全額負担する。

介護給付費支給の審査会を二宮町と 共同設置へ 報酬も決まる

障害者自立支援法の成立により、規定する介護給付費の支給に関する審査会を二宮町と共同設置する。自治法上の事務委託の広域行政で主体性を発揮するため、事務は大磯町で行う。障害程度区分認定審査会委員の日額報酬が「合議体の長 22,500円」「医師 20,000円」「医師以外 13,500円」と決まる。

和解の締結

平成18年2月16日、退職金等請求事件の和解が成立したので、裁判所の勧告に従い補正予算で300万円を支払うことになった。本事件は平成16年3月31日付けで通常退職した職員から勧奨退職による加算金の請求が出されていた。

17年度補正予算（第5回）

一般会計に1億7,821万1千円を追加し、予算総額を81億5,073万6千円とした。

4特別会計補正予算も提案され、採決の結果、いずれも賛成多数で可決した。

- ▶ 町民税・固定資産税 2億100万円の増
- ▶ 生沢・月京1号線整備事業 2,379万円の増
- ▶ 財政管理運営事務事業 2,158万円の増
- ▶ 学校運営事業 180万円の増

主な質疑

問 個人町民税1億5千万円の増の内訳は。

答 配偶者控除の廃止による9千630万円と、個人納税者数が予定より増えて4千840万円となった。

問 生沢・月京1号線の整備は。

答 県の不動川改修工事。県が買収した以外で町が買収した区間は、神橋から国府橋の左岸の道路。

賛否結果

議案番号	議案		議員名（議席順）													結果				
			百瀬恵美子	奥津勝子	土橋秀雄	山田喜一	吉川重雄	清水弘子	鈴木京子	坂田よう子	高橋英俊	柴山賢一	大坂聖子	浅輪いつ子	山口陽一		柴崎茂	高橋正克	渡辺順子	竹内恵美子
55	大磯町まちづくり基本計画について	修正案	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可決
		修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
1	大磯町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
2	大磯町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
3	大磯町情報公開条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
4	大磯町介護保険給付費支払基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
5	大磯町立の福祉館条例等の一部を改正する条例		○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決	
6	大磯町重度障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
7	大磯町国民保護協議会条例		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
8	大磯町国民保護対策本部及び大磯町緊急対処事態対策本部条例		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
9	大磯町都市公園条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
10	介護給付費等の支給に関する審査会の共同設置に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
11	平成17年度	大磯町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
12		大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
13		大磯町老人保健特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
14		大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
15		大磯町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
16	大磯町一般会計予算	修正案	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
17	大磯町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
18	大磯町老人保健特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
19	大磯町介護保険事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
20	大磯町下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
21	大磯町特別職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
22	大磯町介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
23	教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
24	教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
25	和解の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
26	平成17年度大磯町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
意見書案第1号	旧吉田茂邸の保存・整備活用を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

○は賛成 ●は反対

あなたの要望はこうなりました!

趣旨採択となった陳情

◆町立大磯・小磯幼稚園の統廃合に反対し、現状維持を求める陳情

陳情者 位田友子氏 日黒雅子氏

主旨

大磯幼稚園の環境悪化、小磯幼稚園地区のデメリットなどがある統廃合に反対する。

質疑

問 幼稚園教育改革検討委員会の理解は。

答 検討、話し合いを重ね合意形成していく。

問 民営化や預かり保育の検討は。

答 民営化は検討。預かり保育は先生の協力必要。

討論

幼稚園教育のあり方を考えていくべきだ。今後十分合意形成を図ることが必要だ。

◆安心安全な農・畜産を大磯町、神奈川県に推進するために遺伝子組み換え作物の栽培規制を要望する陳情

陳情者 湘南生活クラブ生活協同組合コムズなかぐん

GMOフリーゾーン活動委員会

若井牧子氏 他804名

主旨

農産物の遺伝子組み換え作物の栽培規制を「神奈川県都市農業推進条例」の指針に盛り込むことの見解書を神奈川県に提出すること。

質疑

問 県条例の指針に入れることは時期、内容に関して可能か。

答 県に確認したところ、指針の検討はこれからだが、内容を入れることは難しいと思う。

問 指針はいつまでにつくられるのか。

答 県の都市農業推進審議会で審議中であり、いつまでとは定まっていない。

討論

内容は理解できるが、この条例が4月1日に施行されるので、経過を見守るべき。

不採択となった陳情

◆医療保険制度「改正」法案の撤回を求める陳情書

陳情者 神奈川県保険医協会 理事長 平尾紘一氏

主旨

改正法案による負担増は、暮らしと健康に重大な悪影響を及ぼす。国へ撤回を求める意見書を提出すること。

質疑

問 70歳以上の現役並所得とは。

答 年金所得で夫婦2人世帯の年収520万円以上、単身世帯の年収380万円以上をいう。

討論

超高齢者社会に向い、厳しい医療財政のなかで改革は避けられない。

机上配布となった陳情

◆「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情

◆神奈川県最低賃金改定等について陳情

陳情の扱い方

出された陳情書は、議会運営委員会で机上配布扱いとするか委員会に付託し、審査するかを決める。
委員会で審査した結果は本会議で委員長が報告し、陳情者に通知する。

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、3月1・2日に
13人の議員から33問ありました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

【文責は本人】

基準を無視した税金投入は誤り

独自の判断もあると思う

吉川 重雄

問 町のアスベスト対策について、国の基準の認識は。
町長 国の基準は一つの判断の指針であり、時には独自の判断もあると思う。

問 今回のふれあい会館のアスベスト検出は国の基準以下であったが、町長が言う例外にあたるのか。
町長 不安感を除くため、また、劣化するとか飛散する心配があるので。

問 検出後、大気中の調査をしたが、結果は問題がなかった。今後飛散すると言っても、検査した以上の数値が出ることはありえない。
独自の判断で国の基準を無視して300万円もの税金を使ったことは判断の誤りである。アスベストの知識がなく素人と言うならば、選定した専門業者からレクチャーを受けたのか。

町長 受けていない。
問 国の基準および行政の対応のいろはを知らず除去することは問題である。他



ふれあい会館 アスベスト除去作業

の自治体で国の基準を無視して行政を行っているところはあるか。

町長 他の自治体のことは調べていない。

問 町が落札したアスベスト委託業者の入札は、一社

を選定するため他の業者が関わっている経過が公開書類から読みとれる。落札業者の価格は2回とも同じだが、町が予定価格を上げたのは問題である。
町長 そんなことはない。

ごみの広域化の今後の進め方は 地域計画作成を18、19年度で

竹内恵美子



ごみ広域化の調印式

問 ごみの広域化の進め方と担当レベルでの検討は。

答 今後、広域化の先に見

環境経済部長 地域計画作成は担当者レベルで18、19年度に行う。

問 今後、広域化の先に見えてくるものは合併ではないかと思うが考えは。

町長 メリット、デメリットを考え、検討する必要があります。住民の方々から意見が上程されてくること必

問 三沢町政について

町長 町長の自己採点は。難しいが町民が付けてくれるもの。

問 企画政策推進プロジェクトを立ち上げたが、今までの評価が上がっていないように思うが、来年度は。

町長 18年度もやっていく。この3月に8人の退職者がいるそうですが、臨時職員やアルバイト対応で住民へのサービスは大丈夫か。

町長 最善を尽くしていく。

問 高齢化や団塊の世代の増加に伴い、ボランティア団体等の情報提供は。

教育長 広報、ホームページ等で活動の一覧表を作成する。

問 町民便利帳、町勢要覧等の作成は。

企画担当参事 小冊子を検討する。

要。合併は考えていない。

三沢町政について

町長 町長の自己採点は。

町長 難しいが町民が付けてくれるもの。

問 企画政策推進プロジェクトを立ち上げたが、今までの評価が上がっていないように思うが、来年度は。

町長 18年度もやっていく。この3月に8人の退職者がいるそうですが、臨時職員やアルバイト対応で住民へのサービスは大丈夫か。

町長 最善を尽くしていく。

問 高齢化や団塊の世代の増加に伴い、ボランティア団体等の情報提供は。

教育長 広報、ホームページ等で活動の一覧表を作成する。

問 町民便利帳、町勢要覧等の作成は。

企画担当参事 小冊子を検討する。

ごみ発生抑制を最優先とするか

大坂 聖子

個別協定書へ組み入れ可能



プラスチックゴミの集積場

問 本年2月に平塚、二宮、大磯の一市二町によるごみ処理広域化計画の基本方針を確認する協定が締結された。だが、この協定書には「ごみの発生抑制を第一優先と位置づけ、推進していく」という文言がない。今後個別の協定を結ぶ際にはこの文言を入れられるか。

町長 一つ一つの計画ありきではなく十分に考え、またそれを持って多くの市民町民にご理解とご協力をいただく、それがごみ処理の広域化の前提条件と考える。

環境経済部長 個別のなかには当然これから今後検討して組み入れることは可能である。

問 県の担当者にも確認した。焼却施設規模は必ず小さく出来る。実施計画策定委託の発注方法は。

問 町長は一市二町でごみ処理をすることを町民との約束よりも前に決断されたが、その際に「きちっと大磯町としての考えをもの申して参りたい」と言われた。

環境経済部長 焼却炉の大きさについては早急に内容と根拠を明確にして、なるべく小さめの施設で建設をしたいという考え方は持っている。

小・中学校への聴講生制度の導入は 学校長と十分協議して行く

奥津 勝子



愛知県扶桑町の聴講生

問 生涯学習の場としても町民と児童生徒との交流や協力で、より質の高い教育活動の展開が期待できるが、学び直しを希望する方に聴講生制度を行政主導で進められるか。

町長 文科省も地域に開かれた学校づくりのために、地域参加型を推進している。児童生徒だけでなく教職員にも効果をもたらすと期待できる。学校側の意見を考慮しつつ慎重に進めて行く。

問 小中学校との調整は。

教育長 今、中学校に地域の人が授業に入れる「公開講座」を投げかけている。学校の主体的な活動の保証を考えると、最終的には学

校が判断して行くことで先進地の情報のもと、学校側の受入態勢など、学校長と十分協議して行く。

AEDの使用講習会推進は

問 AED（自動体外式除細動器）は、心肺停止状態の患者に電気ショックを与えて心肺機能を回復させる医療機器であるが、一般町民にも使用が認められている。訓練用AEDを使用し

ての回数と今後は。

消防長 AEDを含めては16回、249名が終了。職員は防災担当との連携で、分団、学校関係、区長会に広報でも普及活動をする。

行政コスト計算書の公表時期は

5月公表に向けて検討中

高橋 英俊

問 特別会計を入れた連結型バランスシートと、行政コスト計算書の公表時期はいつになるのか。

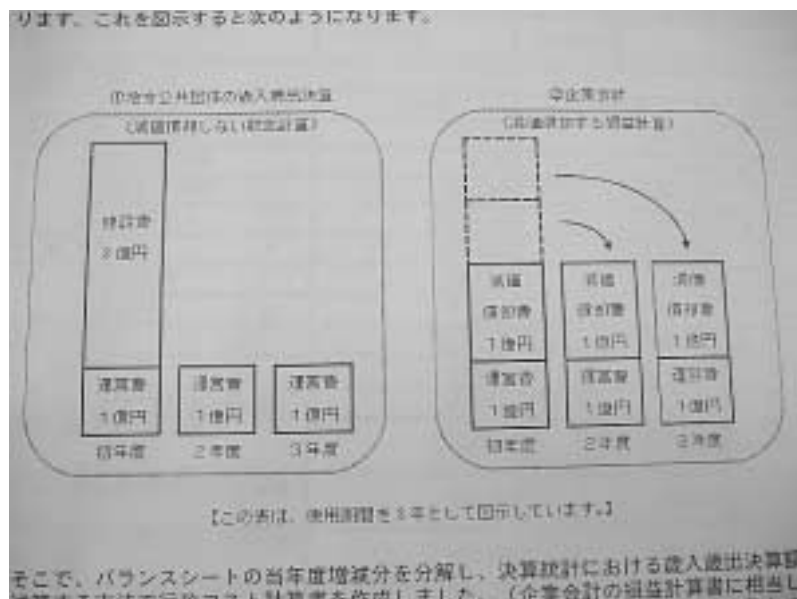
総務部長 例年広報に掲載している新年度予算と併せての公表を検討している。

問 財政健全化計画の中の基本方針である自立した財政運営を維持するためとあるが、自立とは。

総務部長 基本的には必要な行政サービスを維持しながら、各年度の収支の均衡を図り財政再建団体に陥ることなく永続的に発展を遂げる事ができるような、健全な財政体質を確保することと認識している。

問 負債合計の返済方法に対する考え方について。

総務部長 公債費推計表にあるように一般会計では、1年間に借り入れる金額を、返済する金額より下回る5億円程度に抑制し、借金返済額に対する借入額の実質的な割合は、5割から7割



減価償却に対する考え方

程度に抑制している。下水道債は増加し今後も負担が大きくなるが、臨時財政対策債などの赤字補てん債の借り入れを抑制し、町全体の負債の抑制を図る。

問 キャッシュフローが少ない。安直に町債が5億だ

とか慎重さに欠けてないか。

総務部長 公共施設は将来何年にもわたり多くの住民に活用され、又財政負担もして頂くとするもので民間企業とは借り入れに対する考え方が違う。



国道1号

駐車対策法の改正で町民への影響は 放置駐車対策強化を周知する

清水 弘子

問 平成18年6月より道路交通法の一部改正に伴う駐車対策法により、駐車違反のチェックが民間委託になると聞いている。

町長 違法駐車対策として、放置車輛（駐車したまま運転者が不在の状態）の使用を責任の拡充と、違法駐車取り締まりの関係事務の民間委託がある。

策が強化されたことを町民へ周知し、買物客や商店への影響もあり、商工会と対応を協議していく。

問 商工会とはどのような話し合いがされたか。

また、パークアンドウォーク整備事業の活用は。

環境経済部長 以前、商工会から「金融機関の駐車場」の活用について支援してほしいと相談を受けた。違法駐車の問題もあり、町側から近隣の商店街、観光施設、金融機関の駐車場、役場の駐車場を含めて、商工会と検討していく。

企画担当参事 総合計画の中で「交流拠点づくり」の一環として今年度は生涯学習館と町役場の駐車場を考えている。

問 地域会館などの洋式トイレの普及は。

防災担当参事 地域会館は16あり、洋式トイレは10施設。順次洋式トイレへ整備する。

緑の基本計画は条例で定めよ

渡辺 順子

他の事例を参考に考える



旧大森邸跡地

問 旧大森邸の開発時に近隣住民から道路側の石垣と樹木の保存を望む陳情があり、賛同者の署名は4千名を越えた。まちづくり条例に既存樹木の保存と接道緑化を加えるべきではないか。

都市整備部長 本町のまちづくり条例の施行規則の緑化率はマンションなどに適用するが、宅地造成には該当しない。接道緑化は地区計画で定めることだ。

問 町の政策は遅れていないか。緑の基本計画は条例で定めるべきではないか。

都市整備部長 他の事例を参考に前向きに考えたい。

問 斜面地開発などは20年以上前から懸念されていた。もっと早くに取り組むべきだった。

町は事業者と住民との紛争をいかになくして行くかを考えるべきであるが、その認識について見解は。

町長 緑地保全は努めていきたいところだが、法整備を超えた部分の保全をどのように行うかが難しい。住民の希望と地権者の権利を勘案し、整合性を図って進めて行く。

住みよい大磯町の将来像とは何か

山口 陽一

紺碧の海と緑の映える町です

問 大磯町の将来像が紺碧の海だけでは困る。今年度から第四次総合計画がスタートするが、重点プロジェクトについて問う。

町長 大磯駅の改修工事・歴史的建造物の保存対策・教育環境の整備・安全な町づくりなどである。

問 大磯駅の改修工事については早く実現してほしいが、工事費用や工事内容はどうなっているのか。

企画担当参事 大磯町の工事費負担は1/3の約2億4千万円だが2億円以内になるようにJRと交渉していきたい。

問 改修工事については、現在の外観は残すように要

望しているとのことだが、駅舎の中に「生け花」「俳句」コーナーがあって、ボランティアで運営されていると聞いている。大磯らしい風情があり心が安らぐ。改修に当たってはこれらのコーナーも残すようにしていただきたい。

企画担当参事 とても大切なことなのでJRに要望しておく。

問 教育環境を整備することとはとても大切である。どうするののか。

教育次長 学校施設の充実・学校給食（地産地消の推進）・生徒の安全確保を重点にしている。



大磯駅

国や県との協議・連帯の円滑化は

旧吉田邸保存等、更に推進

坂田よう子



邸園文化圏再生構想のパンフレット

精査していく。

「景観事業」は、景観法に基づき、県の景観行政団体として、「景観計画」策定を町として進めている。また、旧吉田邸等の「歴史的建造物保存活用の方針」は「景観計画」に含まれる。

問 県は、「相模湾沿岸地域保全等構想」並びに、「邸園文化圏再整備構想」。また、その柱のひとつとして「大磯近代歴史文化公園ゾーン」形成をすでに、考案している。具体的には、景観条例等による街並み保全・形成、景観重要建築物の指定、税制面の優遇措置等を町の取組みとして位置付けている。

「旧吉田邸の保存」を国に要望する自治体として、恥ずかしくない対応を。

都市整備部長 国や県と協議・連帯し、「旧吉田邸の保存」等、歴史的建造物の保存活用を更に推進する。

問 地方分権の一方で、国や県と協議・連帯を必要とする重要事業は円滑に行われているのか。

町長 「大磯港みなとまちづくり協議会」は、国・県と町が事務局、国からアドバイザーが派遣されている。

県が策定する「大磯港再整備計画」の早期着手に期待をしている。

「都市計画」は、県が行う「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」改正に対応すべく、線引き、土地利用方針や道路計画等を

町民期待の町政に改革できるか

自立した財政へ努力したい

山田 喜一

問 予算案は町の将来ビジョンが見えない。枝葉の予算配分だ。町現状は土地利用計画や道路など公共施設整備の遅れた街になっている。将来のまちづくりの骨格を明示すべきではないか。

町長 第四次総合計画の初年度で「都市拠点の整備」「景観の形成」「子育て環境の充実」「協働によるまちづくり」の予算をつけた。

問 年約5億円不足する町の財政危機を町民期待の町政へ改革していく予算になっているか。安易な内部リストラ（人件費）だけで非効率な事業の見直しや収入を増やす努力が棚上げされていないか。

町長 財政健全化計画に基づき人件費削減や受益者負担の自立した財政めざした予算を組んだ。

問 行革提言にある役場支所・消防分署・図書館分館と保育園・幼稚園の見直しなどの検討調査費などが予



元JR跡地

算計上されていない。これは組織体制の場当たり、前例踏襲が改善されていないからだ。本当にやる体制があるのか。

町長 町長の方針が徹底していかない。町執行体制の改革なくして町の将来は期待できないのではないかと。町民ニーズに柔軟に対応できる執行体制を目指す人材育成を考えている。

代官山マンション建設計画は

開発事業事前協議書を受理

浅輪いつ子



代官山マンション予定地

問 代官山マンション建設計画について事業者は近隣住民との約束を守らず、平成17年10月23日一方的に説明会を開いた。斜面の保全や風の問題にも十分な対応がないまま、4ヵ月たっても返事がない。事業者の十分な説明会をなぜ放置するのか。

町長 平成17年11月30日開発事業事前協議書を受理したが、事業者に引き続き説明会の開催を要請している。

問 まちづくり条例の理念をなぜ徹底させないのか。

町長 まちづくり条例の基本理念として、まちづくりは、町、町民等及び事業者の相互の信頼、理解および

協力の下、公正で透明な手続きの中で情報を共有し、良識に基づいてそれぞれの責任を担いながら行われなければならないと規定されているが、開発事業は法令や条例の中での規制となるので難しい面もある。

問 斜面地マンション条例はいつ制定するのか。

町長 建築基準法第52条第5項に基づき、地盤面の位置を定めるための県ガイドラインが平成18年1月10日に示されたので、先行する自治体の条例や罰則規定などを研究し、18年度中に制定したい。

その他の質問 ごみ処理広域化について。

吉田邸を保存する要請文はあるか

柴崎 茂

あったかどうか確認してない



署名活動の記事 (神奈川新聞)

問 2月に旧吉田邸見学会が催されたが、目的は何か。12月の議会において、ある議員の質問に答えて「今後、見学会を仕掛けていきたい。」としているが、私が気にさわるのは、この「仕掛けていきたい。」とする部分だ。これは意に沿わない人をもつように仕向けてでももっていく、という意味合いがあると思う。

町長 仕掛けるというのは町もできるだけのことをや

問 多くの方の協力を得たことと考えてのこと。文書があったかは、私は確認していないし、記憶にもない。

問 口頭でできる話ではない。人の持ち物を勝手に保存活動できるのか。新聞を見ても文書の存在は示されていない。町長が保存活動を今する根拠はあるのか。

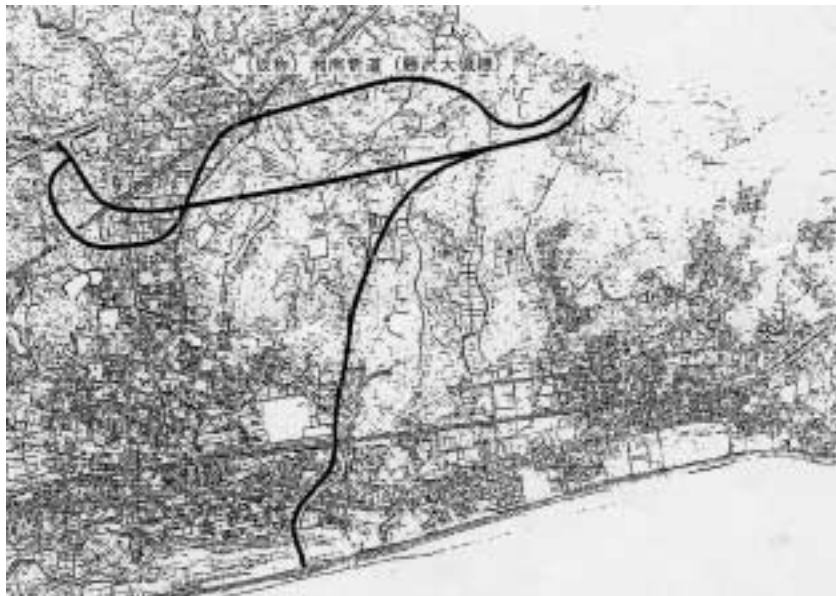
町長 今回、所有者の都合で大変危険な状態であるというのでやった。精いっぱい頑張りたい。

問 それほどまで保存したいというなら、なぜ、18年度予算に固定資産税や下水道負担金を軽減しないのか。

町長 予算は、県で500万円、町で200万円計上する。

(仮称)湘南新道大磯藤沢線は必要か 将来的には必要と考える

鈴木 京子



(仮称) 湘南新道 ルート検討図

問 道路といえば、舗装など維持管理、狭あいをなくす、排水対策をすることがまず重要。ほとんどの町民が知らない県の方針には、「人口や産業、都市機能の集積が進みつつある地域で

今後、高速交通体系の整備を契機としてさらなる発展が見込まれる。」とあるが、道路を一本通すと、土地区画整理事業など乱開発を引き起こす可能性があるのでは。

町長 財政的状況もあるが、将来的に大磯町のことを考えなければならぬ。短期間で完成するものでもない。手続き等はしっかり進める。

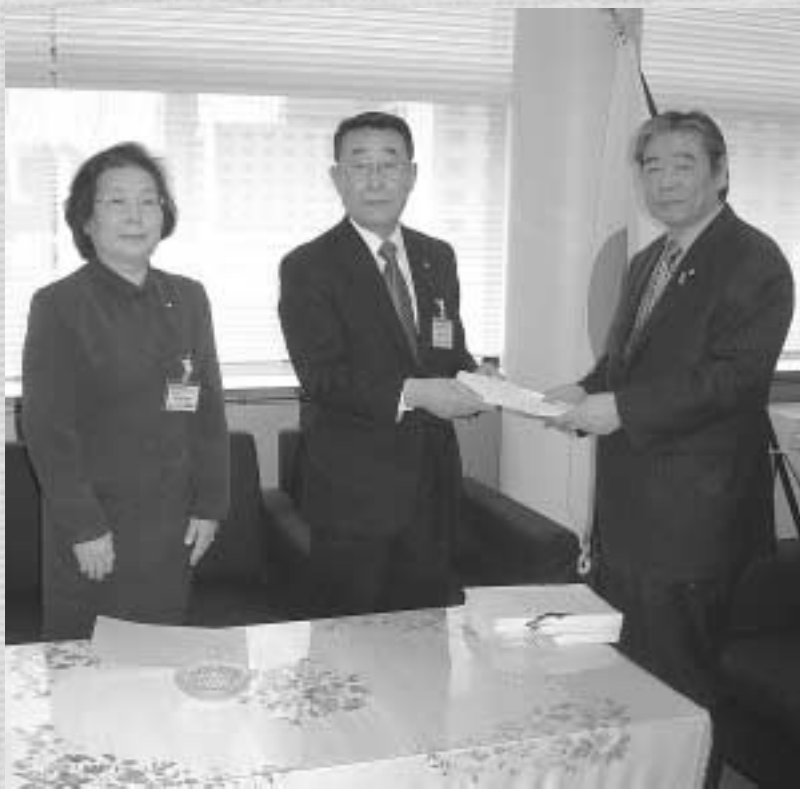
その他の質問 大磯保育園の民営化について、代官山マンション問題など4項目。

くらし・福祉・教育の充実が求められているが、このようなことをしている場合だろうか。所見を伺う。

町長 道路を一本抜くことにより、土地利用の可能性は広がる。乱開発の懸念もあるが、きちっと考えたい。

問 ルート検討の根拠とされる平成14年作成の道路整備関係の報告書は、車を「人口3万6千人が1日2台動かすと仮定すると7万2千台と想定される。1日8千台通る構造の道路を作り、割ると9路線が必要」と結論づけているが、机上の計算による空想の産物だ。本当に(仮)湘南新道大磯藤沢線は必要か。

首相官邸で官房副長官に要望書 ～旧吉田邸の保存・整備活用～



議会は3月定例会の初日、議員が提案した「旧吉田邸の保存・整備活用を求める意見書」を採択し、内閣総理大臣・総務大臣・外務大臣・文部科学大臣・国土交通大臣に提出した。

議会は3月定例会の初日、議員が提案した「旧吉田邸の保存・整備活用を求める意見書」を採択し、内閣総理大臣・総務大臣・外務大臣・文部科学大臣・国土交通大臣に提出した。

議員個人による署名活動は町外を中心に行う一方、町主催の旧吉田邸見学会でも会場内で署名活動を行い、集められた6千495名の署名は区長会に寄託した。また、4月の見学会で議員は会場内の誘導係で協力した。

姉妹都市の中津川から議員が来磯



旧藤村邸を見学する中津川市議員

2月2日、岐阜県中津川市から市会議員20名が、まちづくり条例と観光行政の視察で大磯町役場を訪れた。一行は研修の後、「旧吉田邸」保存要望書に全員が署名を行い、旧藤村邸と旧吉田邸を見学した。

その結果、30施設のうち17施設（テニスコート、温泉会館、老人福祉センター、集会所、観光施設、いこいの家、駐車場等）に指定管理者制度を導入した。指定管理者は、観光協会、観光公社、文化・スポーツ財団、生きがい事業団、自治会、有限会社などである。



議員の研修報告 指定管理者制度を 箱根町に学ぶ

1月30日、箱根町を訪れ、「指定管理者制度」について研修した。

この制度は、小泉政権が主導する「官から民へ」の一環で行われるもので、公共施設の管理運営を管理委託制度から民間企業に開放し、質の高いサービスの提供とコスト削減を目的に、

各自自治体でも導入が始まっている。

箱根町は、この制度の導入を主目的とせず、施設のある方を見直し、どのような方法（直営、一部業務委託、指定管理者制度、民営化）が、その施設を最大限に有効活用できるかを検討していた。

その結果、30施設のうち17施設（テニスコート、温泉会館、老人福祉センター、集会所、観光施設、いこいの家、駐車場等）に指定管理者制度を導入した。指定管理者は、観光協会、観光公社、文化・スポーツ財団、生きがい事業団、自治会、有限会社などである。

委員会重要課題を調査・現地視察

総務企画

第四次総合計画を確認

2月2日、町から第四次総合計画（案）の修正の説明があった。前期基本計画（案）に総合計画審議会での意見を再び加え、町の答申をまとめたことだった。

委員会での主な質疑

問 道路の項目で「ルートを検討」が「計画を策定」に変わったのは。答 審議会委員より「検討」では進展が無いという指摘を受けたため、「策定」へと変更した。

問 自然環境のために宅地へ生垣の設置を行うと、道路幅が狭くなる。狭あい道路幅は、最低5mと変更しては。

答 道路幅の基本となるのは建築基準法に基づく4m幅。5mへの拡幅は難しい。

第四次総合計画・前期基本計画は、4月より実施される。

福祉文教

保育園の今後のあり方

2月7日、町から町立保育所民営化基本方針の説明があった。保育所サービスの拡充を目的とし、平成19年度を目標に大磯保育園を民営化する計画。

各委員の質疑は、保育サービスの拡充、計画への保護者の参加などであった。今後十分な話し合いを望みたい。

ふれあい会館アスベスト対策は

12月9日、3階調整室天井でアスベストを確認した。1月10日に囲い込みをし、2月21日から除去工事をした。

幼稚園・中学校の耐震診断終了

大磯中学校体育館・国府中学校B棟・国府幼稚園管理棟は、耐震性不足と診断された。早急な対応を要望した。

建設経済

主要幹線道路網を視察

1月31日、計画中の主要幹線道路網の5路線の現地を訪れ、問題点を検証した。5路線とは、

- ① 町を南北に結ぶ道路（仮称）湘南新道
- ② 二宮町都市計画道路と連絡し、町の東西を結ぶ道路
- ③ 小田原厚木道路と県道相模原大磯線を結ぶ道路
- ④ 平塚万田から西小磯へ南北に結ぶ道路
- ⑤ 運動公園のトンネルから大磯駅を結ぶ道路。

これらの路線は、平成8年の都市計画マスタープランで位置付けされたが、一向に進展していない。平成14年に道路整備計画策定業務委託でも5路線が示されていたが、手つかずのままである。いずれの路線についても、早急な対応が望まれる。



6月議会までにごみ処理広域化、「みなとまちづくり」事業、公共下水道事業の今後、山王町松並木敷問題の進捗状況を調査する。



大磯駅 ホーム側階段

「大磯駅バリアフリー」 特別委員会で検討

議会最終日の16日、議会は一般会計から削除した大磯駅バリアフリー事業を検討するため「大磯駅バリアフリー化対策特別委員会」を設置した。

第1回委員会は3月20日に行なった。

町から「現在JRが詳細設計をしており、4月には説明を受けられる。4月に国へ補助金申請をする予定なので、6月議会で補正予算を認めてもらえたらありがたい」と話があった。委員会はJRに対する質問事項を決定し、町を通じてJRに申し入れた。

4月7日の第2回の委員会で、JRからの回答について町から説明があった。

JRへの質問と回答
当初7億8千万円の概算が、7億2千800万円に変更した経過と減額理由。

・当初の概算は基本設計を元に平成17年8月末に現場立会いを行い、10月に町に提示した上限金額である。

その後詳細設計において基礎形状や工事手順を精査し、11月に国庫補助要望を見直し、12月に再度町に提示した。

町の補助限度額を2億円とした場合の国・JR・町の負担割合はどのようになるのか。

・町の補助金額と国の補助金額が同額となり、残りはJR負担となる。

バリアフリー化を行なうこととした経緯は。

・JRは平成12年バリアフリー法制定にあわせて、乗降5千人以上かつ高低差5m以上の駅を平成22年までにバリアフリー化する予定である。大磯駅は高低差が5m未満のため対象外であるが、町からの要望により平成12年から検討を始めた。町から駅舎は保存してエレベーターとエスカレーターも整備するなどの要望もあった。

6月議会で補正が出来なかった場合はどうなる。

・6月補正が出来なかった

場合は2カ年での事業実施が困難となるため補助金の申請は取り下げる。

補助金の確保が年々難しくなっているため再度申請した場合の見直しは不明。
既存跨線橋を利用した事業の実施見込みは。

・既存跨線橋を利用するのは無理である。

駅舎の老朽化に対するJRの考え方は。

・定期点検を行い必要に応じた修繕をしている。現在改修工事の予定はない。

工事発注についての入札方法は。

・随意契約を基本としている。

4月7日の質疑

問 JRの回答は何時どのような形であったか。

答 回答は昨日3時にJRから3名が見え説明を受けた。JRが直接委員会に説明することはしない。町に回答がある。

問 詳細図面について金額の説明は無いのか。

答 今後1ヵ月かけてJRが詳細図面を精査するのでその後でないと示せない。

問 メンテナンスの負担は誰がするのか。

答 JRの負担である。

問 町が12年から要望していると言うがJRへの要望事項などの書類はあるか。

答 神奈川県鉄道輸送会議の中で他の自治体と一緒に要望しており、書類はない。

問 久里浜に視察に行ったが大磯とほぼ同じ形状で3億円の事業費だ。納得いかない。

答 久里浜は終点駅で広い空き地があり作業の手順が違い、工事期間は7ヵ月である。大磯は夜間3時間しか作業出来ず、1年数ヵ月かかる。

4月11日に駅現地で計画図面案を検証した。

5月11日にJRからの最終積書を検討して、方針を決める予定である。

大磯駅バリアフリー化 対策特別委員会

委員長 山田喜一
副委員長 竹内恵美子
委員 土橋秀雄
柴山賢一
浅輪いっ子
山口陽一

輝いてます



陶芸家 川瀬 忍さん

国府本郷在住

桜のつぼみが大きく膨らんできた春の日、城山公園近くにお住まいの青磁作家、川瀬忍さんを訪問しました。大磯との縁は祖父である国の無形文化財であった初代の川瀬竹春さんからはじまるそうです。

昭和24年、当時すでに陶芸家として京都で活躍なさっていた初代が、三井本家別荘「城山荘」にある登り窯（現在の城山公園の茶室のあたりにあった）を拝借するため、大磯に住まいを移されました。その後、豆彩で高名な父の2代目竹春さん、そして忍さんへと受け継がれています。

川瀬さんは10代後半から、父の許に入門し、施釉作業の中で、うわぐすりを厚くかければかける程、器の青が深く濃くなることに興味をそそられました。そして、祖父の「青磁をやりたいのか」との一言が、「青磁」と出会うきっかけでしたと、

柔和に話される姿に血筋に導かれ道が開かれる運命の不思議さを感じました。そして、20歳頃から「青磁」の勉強のために台北の『故宮博物院』に何度も足を運び、中国、宋時代の美しい陶器にたくさん出会ったあたりから、「青磁の世界」への憧れがぐーっと高まっていったそうです。

26歳で初めての個展を開き評価を得て、中国古美術を研究するうちに「造形の根源は、自然に有り」と気づき、その後、身近な自然である雲、草花（カラーの花、秋海棠の葉）、動物（エイ、ペンギン）の形を作品に取り入れていきます。陶芸制作は、形をより良く表現するために、どのよ

うな粘土が適しているのかを考へることから始まり、窯で器を焼く時には、外気との接触を断ち約30時間焼成するそうです。そのようにして生み出さ

れる川瀬さんの気品に満ちた作品は、柔らかく繊細で、かつ緊張感に溢れ、ゆるがせることのできない形を持ち、深い感動を覚えます。そして、造りだす川瀬さんの手は、強くてガッシリしていました。

物事を極めるコツを伺うと「無理せず、自然体で」とのことです。

「世の中の表現が過度になりつつある今、大磯で自然と素直に接しながら、制作に没頭できる静謐な環境があることに幸せを感じています。より一層の磨きをかけていきたい」と静かに語られました。



撮影 秋山庄太郎 協力「月刊美術」

6月定例会は6月1日(木)から開催します。

1950年 大磯に生まれる
1981年 日本陶磁協会賞受賞
2005年 ニューヨークで個展開催
1976年より毎年個展を開催
<http://www.shinobu-kawase.com/> 《果てしなき土との対話》

【編集後記】

3月議会はいろいろな議案決定がありました。

「まちづくり基本計画の修正」、「旧吉田邸保存活用について国へ意見書」、「一般会計予算の特別委員会否決」、「駅バリアフリー化予算修正」、「駅バリアフリー対策特別委員会設置」など。

この町政にとって重要な議決がどのような質疑や討論によって行われたか、議会だよりの記事などを読んでご検討をいただけたら幸いです。

町民みなさんの率直なご意見をお寄せ下さい。

表紙の答

高来神社参道

議会だより編集委員

- | | | | |
|-----|-------|------|-----|
| 副議長 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 長 | 熊柴高吉山 | 大坂渡 | 大坂渡 |
| 百瀬 | 木崎橋川田 | 喜一 | 聖子 |
| 恵美子 | 博茂俊雄 | | |